

遺伝子組換え作物(GMO)分析試験を確立

ー オーガニック Cotton の検証が可能に ー

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(以下 ニッセンケン、理事長:安藤 健)は、繊維原料に含まれる遺伝子組換え作物(GMO)の有無を確認する「GMO 分析」を新たに確立しました。本分析は主に原綿を対象とした定性試験で、オーガニック Cotton の非 GMO 原料の真正性を科学的に確認することが可能です。一方、生地や糸といった加工段階の素材では、構造的な理由から分析が困難となる場合があります。しかし、輸入時などに原綿を入手できる場合には、原料レベルの検証が可能となります。

ニッセンケンでは、今後拡大が見込まれる OEKO-TEX® ORGANIC COTTON(以下 エコテックス®オーガニック Cotton)認証への対応も見据え、原料段階での真正性確認やサステナブル素材の評価を通じて、より信頼性の高いものづくりを支援しています。

背景

オーガニック Cotton 製品には、栽培から加工までの各工程で化学的処理を抑え、環境負荷や労働者への影響に配慮した製造プロセスが求められます。中でも「非 GMO(遺伝子組換えでない)」であることは重要な要件の一つです。この非 GMO 性の確認は、エコテックス®オーガニック Cotton 認証や GOTS などの国際認証においても必須項目として位置付けられており、原料の真正性を担保するうえで欠かせない要素となっています。

分析概要

定性 GMO 分析として、綿繊維などの原料から高効率で DNA を抽出し、リアルタイム PCR 法(Real-time PCR)により遺伝子組換え作物を検出する分析手法を確立しました。

分析対象	原綿
分析内容	GMO の有無(定性)
分析方法	リアルタイム PCR 法(Real-time PCR)



OEKO-TEX® ORGANIC COTTON 認証への対応

エコテックス®では、従来のスタンダード 100 やメイドイングリーンに加え、オーガニック Cotton 製品を対象とした新たな認証制度「エコテックス®オーガニック Cotton」を導入しており、ニッセンケンでも現在、認証開始に向けた準備を進めています。同認証では、非 GMO(遺伝子組換えでない)原料の確認に加え、農薬や化学肥料の使用管理、トレーサビリティの確保などが重要要件として求められます。

ニッセンケンは今後、サステナブル素材評価や認証取得支援の一環として、GMO 定量分析やトレーサビリティ確認を含む関連分析の拡充を図ってまいります。GMO 分析や認証対応を組み合わせることで、原料段階から製品まで、より透明性の高いサプライチェーンの構築を支援していきます。

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先 ◆

最寄りの各事業拠点にお気軽にお問い合わせください。お問い合わせフォームからもお受けしています。

> [ニッセンケン事業拠点](#)

> [お問い合わせフォーム](#)